

日立産業用コンピュータ

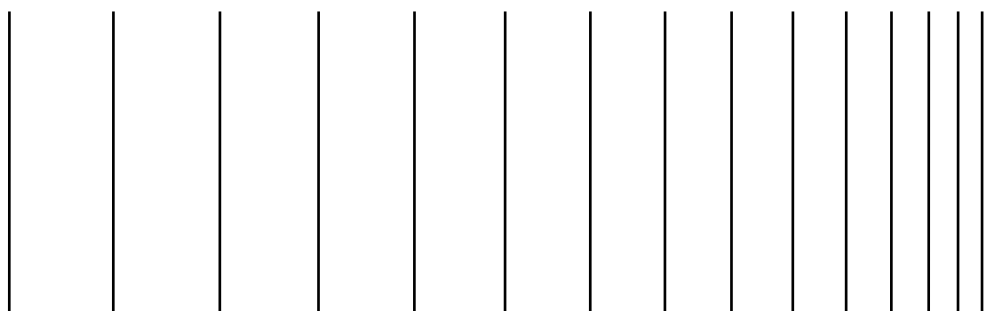
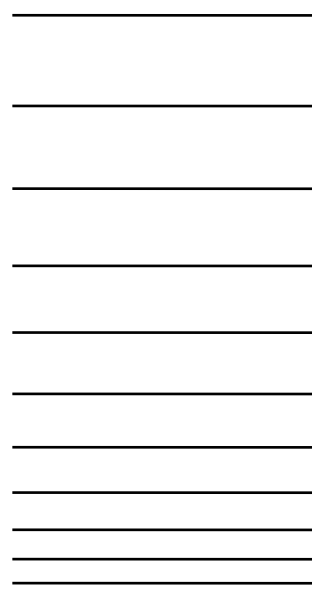
HF-W

取扱説明書 追補版

(DVD ドライブ、光ディスク取り扱い編)

<本追補版の内容>

DVD ドライブを使用する際は、この取扱説明書を参照してください。



ユーザーズ
マニュアル

1. 取扱説明書 追補版について

この取扱説明書は、日立産業用コンピュータ HF-W の DVD の取り扱いについての追補版です。

DVD を使う際には、この取扱説明書を参照して下さい。

【対象モデル】

HF-W7500 モデル 50/40/30

HF-W6500 モデル 55/50/45/40/35/30

HF-W2000 モデル 58/55/50/48/45/35/30

2. DVD ドライブ、光ディスクの取り扱いについて

(1) DVD ドライブの使用上の注意

- DVD ドライブはちりやほこりに弱いため、ちりやほこりの少ない場所に装置を設置し、周りをきれいに使用して下さい。
- DVD ドライブの使用中に強い衝撃を与えないでください。書き込みエラーや読み込みエラーとなる場合があります。
- 光ディスクの着脱時以外はトレイを開けないでください。また、トレイの中に異物を入れないでください。DVD ドライブの破損、故障の原因となります。
- 光ディスクをディスクトレイに実装する場合は、光ディスクがディスクトレイにしっかり固定されていることを確認してください。固定されていない場合、光ディスクが飛び出す恐れがあります。
- DVD ドライブの使用中に異音が発生した場合は、使っている光ディスクに変形や反りが発生している可能性があります。そのときは別な光ディスクを使用してください。
- 光ディスクの傷、汚れ、変形、コピープロテクションなどによりデータの読み込みや正常に再生ができない場合があります。そのときは別の光ディスクを使用してください。
- 光ディスクの品質によって書き込みができない場合があります。書き込みを行う際には、事前に使用する光ディスクの検証を行ってください。
- 光ディスクの読み込み、書き込み中に装置の電源を切ったり、リセット/NMI スイッチを押したりしないでください。
- 光ディスクの挿入やアクセスによって、システム負荷が上昇し、動作中のアプリケーションに影響を与えることがありますので、オンライン運転中（システム稼働中）はディスクの挿入やアクセスを行わないでください。
- ディスクトレイは薄型のためスライドレールが壊れやすく、故障の原因となります。光ディスクをトレイへセットおよび取り出す際は、必ずトレイを手で押さえながら実施してください。
- ディスクトレイを出したままにしておくと障害の原因となります。使わないときは、ディスクトレイを DVD ドライブに収納しておいてください。
- 光ディスクの書き込み品質や、DVD ドライブの読み取り特性によって、他装置で書き込んだデータが自装置で読み出しできない、または自装置で書き込んだデータが他装置で読み込みができない場合があります。

(2) 光ディスクの使用上の注意

- ・記録面には、傷、指紋、汚れ、ほこり、水、油、塩分などが付かないように取り扱ってください
光ディスクはレーザー光を記録面に当てて、情報を記録または再生しています。そのため、汚れなどでレーザー光を妨げるような状況が発生した場合に、正常に記録や再生ができなくなります。またほこりや水、油、塩分などが付着したまま光ディスクを DVD ドライブに入れると、DVD ドライブが故障することがあります。
- ・記録面に汚れ、ほこりが付着した場合は、メガネ拭きのような柔らかい布で傷がつかないように軽く拭きとってください。
拭くときには内から外へ（光ディスクの中心から外周に向かって）直線的に拭いてください。
円周方向には拭かないでください。光ディスクの信号は、円周方向に記録されているため、円周方向に拭いて傷をつけた場合、連続的に信号にダメージを与えてしまい読み取れなくなる可能性があります。
- ・光ディスクを長時間 DVD ドライブ内に放置しないでください。熱などの影響で光ディスクの変形などが発生することがあります。
- ・光ディスクを結露させないでください。結露の恐れがある場合は、室温に十分になじませてから使用してください。結露した場合、正常に記録、再生ができない恐れがあります。
- ・光ディスクにタイトルを書く場合は、レーベル面の記入領域に先の柔らかい油性フェルトペンなどで記入してください。鉛筆、ボールペンなど先の硬い筆記具は反射層や記録層に傷を付ける恐れがあります。反射層や記録層に傷を付けると記録内容が読み取れなくなる原因となります。
- ・光ディスクにはラベルを貼らないでください。ラベルを貼ると回転中の光ディスクの重心がずれ、高速で回転した時にバランスがくずれて振動が発生し、正常に記録、再生できないことがあります。
- ・光ディスクを保管するときは光ディスク専用のケースに入れて保管してください。ケースに保管することで記録面を傷、ほこりから守ることができます。また、光ディスクが変形することも防止できます。
- ・保管場所は直射日光を避け、できるだけほこりの少ない環境で保管してください。
保管環境は温度 15℃～25℃、湿度 40%～60%が適しています。
直射日光に長時間当たると、記録層が劣化し正常に再生できなくなる恐れがあります。高温環境で保管すると光ディスクが変形し、低温環境で保管すると使用時に結露してしまう恐れがあります。
- ・光ディスクをケースから取り出す場合は、ケースの両端をはさむように持ち（写真 1）、中心部を押下し（写真 2）光ディスクを反らせないように取り出してください。光ディスクを反らして取り出すと、光ディスクが変形し、読み出しエラーや書き込みエラーが発生する原因になります。



[写真 1]



[写真 2]